

音楽に会えるまちづくり

香南市音楽祭



konan
music festival
2007

9月2日(日)のいちふれあいセンターで初めての香南市音楽祭が開催されました。6歳から85歳まで幅広い年齢層が活動している市内の音楽サークルや中学校吹奏楽部など11サークルが集い、日ごろの練習の成果を披露。それぞれが心を込めた演奏や歌声に、満席の観客は一緒にリズムをとったり、目を閉じて熱心に聴き入っていました。また、特別ゲスト「THE TRIO」のチェロ、ピアノ、クラリネットの演奏には「すごい!」と感激する中学生も。この日、会場は大きな拍手で包まれていました。実行委員会会長の山中国保さん「音楽活動への熱意が全市的に広がり、高まり、この音楽祭が誕生した。暮らしの中に音楽のある豊かなまちとなるよう、今後につなげていきたい」と抱負を話していました。

苦節2年! やっと完成!

夜須町国光地区 炭焼き窯完成

9月6日(木)夜須町国光地区で平成17年11月から取り組んでいた炭焼き窯が完成し、初めての火入れを行いました。地元の有志5人で結成された「国光炭焼きクラブ」は子どものいなくなったこの地区に人を呼び込みたいという願いから炭焼きに注目し、直径2mあまりの窯を完成させました。クラブ代表の清藤昭広さんは「炭焼きを子どもたちの体験学習の場にしていきたい」と熱く語っていました。



マリンスポーツの輪を広げよう

香南市マリンスポーツ振興計画策定委員会



9月6日(木)夜須町のシースポで第1回マリンスポーツ振興計画策定委員会が行われました。この委員会は、香南市の海浜の自然環境に配慮しながらマリンスポーツの普及を図るため、初めて開催されました。市内の漁協や観光、スポーツ団体など15人の委員は、今後、施設の具体的な活用方法や、観光資源としてのPRの仕方について、月1・2回程度委員会を開催し、来春には策定した計画をお知らせします。

どろんこって楽しい~

そうめん流しとどろんこ運動会

8月25日(土)野市町西野で、「のいち遊びすとクラブ」主催の「そうめん流しとどろんこ運動会」が行われました。市内の小学生約60人の参加があり、まずはスタッフ手作りの流しそうめんを腹ごしらえ。初めは友達の手をぎゅっと握りしめ、こわごわだった子どもたちは泥の中へのビーチフラッグや、障害物競走などゲームが進むにつれエキサイト! 思いっきり田んぼに飛び込み、泥だらけになりながら元気な歓声をあげていました。



どろんこイベント

ボール追いかけ大ハッスル!

どろんこ夢サッカー大会



8月25日(土)香我美町上分の田んぼで「第6回どろんこ夢サッカー大会」が行われました。今年は小学生が6チーム、中学生以上が3チーム、約60人が元気いっぱいサッカーを楽しみました。子どもたちは「気持ちいい!」と田んぼの中を走り、沿道の保護者も「行け~!」「そこや~!」と子どもたち以上(?)にハッスルしていました。試合後は、消防団の放水で体を洗ってもらい、地元ボランティアに作ってもらった手料理をおいしそうに食べていました。

あなたの知らない世界...

土佐絵金百物語 NHKラジオ公開録音

8月29日(水)赤岡町の弁天座でこけら落とし事業の一環として、講談「播州皿屋敷」が公開録音されました。照明が落とされた会場では人間国宝一籠斎貞水さんの姿がぼんやりと浮かび、情感たっぷりの話しぶりで、絵金バージョンの怪談を披露。また、絵金蔵蔵長の横田恵さんと高知女子大准教授の高岡弘幸さんをパネラーに迎えたトークショーでは、高知の妖怪や絵金のびょうぶ絵の秘密などを話してくれました。



きもちいいー!

舞川ひとふれあい



8月25日(土)香我美町舞川の河原で行われたイベントに約200人の親子らが参加し、夏休み最後の週末を楽しみました。このイベントは、舞川の自然に親しみ交流してもらおうと地元の自治会と源流を守る会が主催。参加者は、思い思いのポイントへ糸をたらし静けさの中、アメゴやマス釣りを満喫し、子どもたちは川で、困われた魚を上手に捕まえ「とったぞー」と大はしゃぎ。当日は、そうめんやもち投げが振る舞われ、参加者らを喜ばせていました。